

平成29年 第3回教育委員会会議

1 日 時

平成29年3月8日（水）

開会 10時00分

閉会 10時45分

2 場 所

教育委員会室

3 出席者

田中新太郎教育長、金田清委員、中村健一委員、横山真紀委員、眞鍋知子委員、西川恒明委員

4 説明のため出席した職員

新屋長二郎教育参事、脇田明義教育次長、竹中功教育次長、齋田正活教育次長、平畠敏彦教育次長兼教員指導力向上推進室長、小浦寛教育次長兼学校指導課長、池田誠庶務課長、杉中達夫教職員課長、篠原恵美子生涯学習課長、浅田隆文化財課長、徳田伸一スポーツ健康課長

5 議案件名及び採決の結果

議案第5号 人事異動について（原案可決）

6 報告案件

第1号 教育委員会の職務権限に属する事務の管理及び執行の特例に関する条例案に係る議会からの意見聴取について

第2号 第72回国民体育大会冬季大会における本県選手団の成績について

7 審議の概要

・開会宣告

田中教育長が開会を告げる。

・会議の公開・非公開の決定

議案第5号は人事に関する案件のため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき非公開とすることを、全会一致で決定

・質疑要旨

以下のとおり

報告第1号 教育委員会の職務権限に属する事務の管理及び執行の特例に関する
条例案に係る議会からの意見聴取について

（池田庶務課長説明）

資料の1ページをご覧ください。「教育委員会の職務権限に属する事務の管理及び執行の特例に関する条例案に係る議会からの意見聴取について」です。

この条例案は、先月の教育委員会会議において、議会への提出予定案件の一つとして、お諮りしたもので、学校における体育に関するものを除くスポーツに関する事務を4月1日から知事部局に移管するための条例です。

1の「経緯及び内容」にありますように、2月22日付で議会から、議案第21号に関して、参考に記載いたしました地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第2項の件により、教育委員会に対して意見聴取があったものです。

なお、議案の内容については、予定案件としてお諮りしたものと内容の変更はございません。

議会定例会の日程上、緊急に処理し、回答する必要があったことから、2月27日付で専決処分し、2の「教育委員会の意見」にありますとおり、意義がない旨を議会に回答したものです。よろしく願いいたします。

【質疑】

質疑なし。

報告第2号 第72回国民体育大会冬季大会における本県選手団の成績について (徳田スポーツ健康課長説明)

資料の4ページをご覧ください。

報告第2号「第72回国民体育大会冬季大会における本県選手団の成績」につきまして、ご説明いたします。

国体冬季大会につきましては、スケート・アイスホッケー競技会が、1月27日から、また、スキー競技会は2月14日から、いずれも長野県で行われました。

1の総合成績につきましては、天皇杯得点は46点で、順位は28位でありました。

2の入賞者につきましては、スキー競技の成年女子ジャイアントスラロームにおきまして、2連覇を果たした石川選手をはじめ、成年女子クロスカントリーでの山口選手の3年連続入賞など、四つの入賞がありました。

今後とも、県体育協会や競技団体と、より一層連携を密にし、秋の「愛媛国体」に向けて、競技力向上に努めてまいりたいと考えております。

以上で説明を終わります。

【質疑】

(金田委員)

夏の国体も、ちょっと心配になってきました。

(田中教育長)

いよいよ来年、福井国体なので、福井が今、強化をどんどんしています。予選突破もこれから多分、大変になってきます。

(中村委員)

力を入れないといけないですね。ちなみに、この天皇杯は何位が最下位になるのですか。

(徳田スポーツ健康課長)

沖縄県が、順位としては44位です。全都道府県が参加の形を取ってしまして、同点がありますので、同順位も幾つかありまして、沖縄県は天皇杯得点が20点で、44位となっています。この20点というのは、アイスホッケーとスキーの参加得点のみです。

(田中教育長)

以降の審議について非公開となるため、傍聴人の退席を促す。

人事担当教育次長以外の教育次長と庶務課長及び教職員課長以外の課長の退出を促す。

議案第5号 人事異動について

杉中教職員課長が説明し、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決された。

・閉会宣言

田中教育長が閉会を告げる。